

チャリティゴルフ大会



ふるさと熊本のためにチャリティに参加 古閑美保

「熊本は私にとって特別な場所。少しでも熊本の皆さんの力になれるよう私に出来ることを精一杯頑張ります。」

7月29日(金)、大根根カントリークラブ(坂東市)において、一般社団法人境青年会議所主催の「熊本地震支援チャリティゴルフ大会」が開催されました。大会は、開催趣旨に賛同した熊本出身のプロゴルファーで、2008年賞金女王にも輝いた古閑美保プロ、佐藤のぞみプロをゲストに迎え、境町、坂東市などから47組175名の方が参加し、開催されました。

当日は、チャリティ企画として、古閑プロ、佐藤プロとのニアピン勝負が行われ、参加者の皆さんはプロゴルファーとの真剣勝負を楽しみながらチャリティを行いました。

また、大会後のパーティーでは、古閑プロを始めとする女子プロゴルファーの皆さんのサイン入りグッズなどのチャリティオークションも開催され、出品された商品全てが落札されました。

この大会を通して、チャリティとして合計61万3,671円の支援金が集まり、8月10日(水)、橋本町長、古閑美保さんの手によって、熊本県の蒲島知事及び熊本市の大西市長へふるさと納税代理受付によって集まった支援金等とともに届けられました。



写真右から渡辺副議長、倉持議長、古閑さん、橋本町長、アントキノ猪木さん



参加者へのサインに気さくに応じる古閑さん



古閑さんのサイン入りゴルフバッグを落札した中山さん(坂東市)

FOR KUMAMOTO ふるさと熊本へ 届けたい想い

本日は熊本地震復興支援のチャリティゴルフ大会ということで、多くの方にご参加いただきまして本当にありがとうございます。

熊本地震の時は、私も「KKT杯バンテリンドレディスオープン」の解説で熊本にいたので、震度7の地震を1回目、2回目ともに経験しました。

また、益城町というのがよくテレビで報道されていると思うんですが、益城町は私の実家から10分くらいのところなので、私の実家も半壊の被害を受けました。現在、熊本の人達の間では、「全壊さえしていなかったら、ある程度

大丈夫」というような状況になっています。

熊本では今もまだ、震度3程度の余震がほとんど毎日のようにあります。まだ家に帰れない人もたくさんいらっしゃいますし、今やっと仮設住宅が1万5千戸くらい出来てきているのですが、まだ1万人弱の方々が、怖くて体育館で過ごされたりしていると聞いています。

また、地震の後に大雨による水害もあり、本当にいろんな事が重なったのですが、現在、熊本は何か復興へ向けて歩き始めているような状況です。

そんな中で、私に出来るのは、やはりゴルフを通じた支援だと考え、今回このようなチャリティゴルフ大会を開催させていだいて、大変感謝しています。大会で行ったのは、私とニアピン勝負

をするというチャリティだったので、ほとんどの方に負けていただいて、チャリティに協力していただきました。また、中には私よりも本場にピンの近くにつけて、勝負に勝った方もいたのですが、負けた方と同じようにチャリティをしていただけ、これだけたくさんの方の支援金を集めることができました。本当にありがとうございます。

今日集まった支援金は責任をもって熊本へ届けさせていただきます。また、私と同じ気持ちで今日来てくれた佐藤プロや、ほかの女子プロのみんなも熊本の復興へ向けて、様々な活動を行っていますので、今後とも宜しくお願いたします。本日はありがとうございました。



古閑 美保 プロフィール

熊本生まれ。ゴルフは小学5年生の頃から始め、2001年にプロテスト一発合格を果たし、2003年「ヨネックスレディースゴルフトーナメント」で初優勝、2008年はツアー4勝で初の賞金女王に輝く！2011年にツアープロを引退し、現在はゴルフのラウンド解説や数多くのバラエティ番組に出演するなど、ゴルフ以外にも様々な活動が期待される。